

スキル

合わせて、や
念に、業
介護事
本社は

高校卒業後、看護師として25年間、数多くの患者と接してきた。この間、日本の医療技術は格段に進歩したが、それでも医学は万能ではない。いくらICU(集中治療室)で最先端の治療を施しても、痛みが取れない患者がいる。手術に成功しても、病気が再

ト社長 大橋 瞳さん

発するケースだってある。最期は自分の家で医療の現場に身を置きながら、なんとなく西洋医学の限界を感じるようになった。「人の臨終にいくつも立ち会い、たとえ医者に見放されたとしても、せめて最期だけはその人が満足いくような見送りかたをしてあげたい。人間

仕事人

しごとびと

介護で自分らしく暮らすお手伝い

として、どうすれば心のこもったケアが施せるのだろうか。どうせなら、病院ではなく自分の家で人生の最期を迎えたい。死を意識した病人の中には、こう願う人がけっこういる。どうせ死ぬなら桜の木の下で、という人だっている。在宅なら往生の場所だって選択できるのだ。そんな思いが、いつしか膨らんでいた。が、病院勤務の傍ら、鍼灸の学校に通って国家資格も取得した。家族とともに迎える臨終の瞬間。在宅医療・訪問介護に興味を持ち始めたのは、このころだ。東洋医学を本格的に勉強しようとして、中国の中医药大学に3年間留学、北京の日中友好病院にも勤務した。中国では東洋医学の研究を積み、ペイコンントロールの技術を身に付けた。帰国後は代替医療を

高齡化社会の進展で、仕事へのニーズが高まる中、2001年3月には通所介護施設「デイサービス愛リン

転職支援サービスを手がけるプロフェッショナルバンク(東京都千代田区)は、経営幹部を対象にした

プロフェッショナルバンク 人材サービス拡充

人材スカウティングサービス「プロフェッショナルバンク」を拡充、新たに管理職や専門職に特化したサ

ービスを始めた。10年以上の豊富な経験を持つ複数のコンサルタントが、独自のネットワークを使って求人企業の要望に適した候補者を選び出し、転職の誘いかけから転職後のサポートまできめ細かく対応する。管

理職に加え、IR担当者などの専門職も対象とする。IT(情報技術)系企業の台頭や雇用の流動化により、ヘッドハントの対象は従来の経営幹部から、30、40歳代の管理職や専門職に広がっている。対象を経営

幹部から広げることで、求人企業のニーズに柔軟に対応する。プロフェッショナルバンクは、人材サービス大手、パソナの土田宗栄社長が2004年10月に設立した。スカウティングサービ

スのほか、キャリア女性を対象にした職業紹介サービス「なでしこキャリア」を展開。NTTマーケティングと共同で、ビジネスパートナー向けSNS(ソーシャル・ネットワークキング・サービス)も手がけている。

焼酎の試験プラン
トで働く森木博之
さん



キリンビールのプロが自社焼酎ブレンド

会社のキリンデイスティラリー(御殿場蒸留所(静岡県御殿場市))で焼酎の自社生産に乗り出した。焼酎の研究開発に携わったのはビール製造のプロである「ブラウマイスター」の資格を持つ森木博之さん。キリンでは、02年に焼酎の自社製造を目指し、横浜工場(横浜市鶴見区)の敷地内にある醸造研究所に酒類グループを発足させ、研究開発に着手した。

は、92年にキリンビールに入社。神戸工場(神戸市北区)などで醸造担当をつとめた後、98年にドイツに留学し、00年にドイツ工業会議所の「ブラウマイスター」資格を取得したビールのプロ。キリンビールには「ブラウマイスター」は7人いるが、森木さんはドイツ語で資格を取得した努力家だ。03年に酒蔵の後継者を育成する独立行政法人の酒類総

りの基本から学んだ。04年にパイロットプラントを立ち上げて、試験醸造を開始。森木さんは「さまざまな原料にトライした。米、タイ米、とうもろこし、芋などデンプンはすべて試験醸造した」と振り返る。さらに、ビール醸造やキリンデイスティラリーの蒸留技術を生かし、通常よりも短期間で焼酎製造が可能になったほか、高度な分析技術で目指す香味を出すことに成功するなど成果を挙げた。

最初の商品化は麦焼酎。森永、キリンとも、畑連いの人材を思いきって、商品開発部門に登用したことが、ヒットにつながった。食品メーカーは、特に、商品開発力によって、業績が大きく左右されるだけに、今後こうした人材発掘が活発化しそうだ。

◆零細のパート比率最高

厚生労働省がまとめた今年7月末現在の勤労統計特別調査によると、従業員4

◆育休給付、賃金の5割に

厚生労働省は、賃金の40%となっている育児休業給付率を50%に引き上げる方

◆半額で研修

企業向け人材研修サける富士通ラーニング